

2025年7月15日

報道関係各位

ツムラ茨城工場 新棟建設工事の起工式を開催

～漢方薬の需要増加に伴う生産能力増強を目的に、造粒包装棟を増設～

株式会社ツムラ（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：加藤照和、以下当社）は、国内の医療用漢方製剤の需要拡大に伴う、生産能力の増強および安定供給の確保に向け、漢方製剤の中間製品である漢方エキス顆粒および最終製品を生産する造粒包装棟を新設することといたしました。

このたび、新棟建設工事の起工式を6月30日に執り行いましたので、お知らせいたします。

【完成予想図】



1. 新棟建設の概要

造粒包装棟は、エキス粉末等を篩過^し※1・秤量^{※2}し、造粒^{※3}・充填^{※4}・包装を行う最終工程の施設です。自動化技術として、新たに包装資材の自動供給と自動部品洗浄装置導入による省人化を図り、さらなる労働生産性の向上を目指しております。また、建物を免震構造とすることで大地震の被害を低減し、地震後の迅速な稼働再開が可能となります。

自然と健康を科学する

お問い合わせ先

株式会社ツムラ コーポレート・コミュニケーション部 広報課 担当：瀬戸、横田

〒107-8521 東京都港区赤坂 2-17-11 TEL.03-6361-7100 shuzai@mail.tsumura.co.jp

(1) 名称	株式会社ツムラ茨城工場 造粒包装棟
(2) 所在地	茨城県稲敷郡阿見町吉原 3586
(3) 建設・施工会社	建築・UTT：鹿島建設株式会社 生産設備：東レエンジニアリング株式会社
(4) 機能	漢方エキス顆粒、最終製品（分包品）の生産 生産工程：篩過・秤量工程 ⇒ 混合・造粒工程 ⇒ 包装・表示工程
(5) 特徴	資材の自動供給、自動部品洗浄装置を新たに導入し省人化を達成
(6) 建物構造	鉄骨造（地上4階建て）
(7) 建設費用	約415億円
(8) 工期	自2025年7月1日至2027年8月31日
(9) 竣工	2028年第一四半期予定
(10) 稼働予定	2028年本稼働開始予定
(11) 生産能力	顆粒：約4,400t 製品：約8,430千箱/年
(12) 建築面積/延床面積	5,582.18㎡/16,405.93㎡

- ※1 篩過：エキス粉末などの製剤原料を決められた目開きの網でふるい、一定の大きさに揃える工程
- ※2 秤量：品目ごとに規定された配合比に基づき、製剤原料を正確に量り取る工程
- ※3 造粒：篩過された製剤原料を混合し、圧縮成形した成型品を破碎整粒し漢方エキス顆粒にする工程
- ※4 充填：漢方エキス顆粒を1回服用量単位にパッケージングする工程

2. 起工式の様子

茨城工場で行われた起工式には、当社の杉井圭（取締役 Co-COO）の他、鹿島建設株式会社の押味至一氏（代表取締役会長）、東レエンジニアリング株式会社の北野真也氏（常務取締役 エンジニアリング事業本部長）など関係者26名にご参列いただきました。



起工式の様子



挨拶を述べる当社取締役 Co-COO 杉井 圭

取締役 Co-COO 杉井圭の起工式挨拶

当社は、今年度より新たな3か年の第2期中期経営計画を開始しております。中核事業である医療用漢方製剤は今後も需要増加が継続するものと見込んでおります。

インフレや建設費の急激な高騰などにより厳しい環境下ではございますが、当社は医薬品製造業としての供給責任を果たすため、造粒包装棟を増設することを決断いたしました。

造粒包装棟のコンセプトは「グローバルレギュレーションへの対応と安心安全な製造」「製品の生産数量の確保と労働生産性の向上」「人と環境にやさしい製造棟」です。

これらのコンセプトに沿って、皆様の創意工夫と最高の技術力を結集させ、高品質な漢方製剤を効率的に安定して提供する「漢方」のツムラと言われるにふさわしい施設が建設されることを願っております。

以上

茨城工場について

1983年竣工、操業開始。現在、当社には医療用漢方製剤を生産する工場が国内に2つあります。茨城工場は少品種大量生産に特化し、静岡工場（1964年竣工）は医療用漢方製剤の他、一般用漢方製剤も含め多品種少量生産の役割を担っております。今回リリースしました茨城工場の敷地面積は17万8,000㎡となります。

